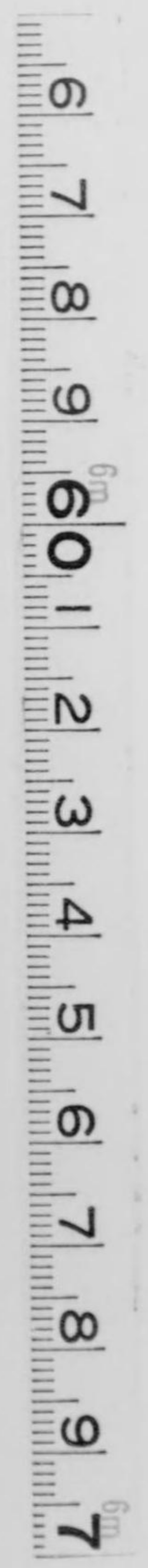


352
192



始



352

192

法學士 前田直之助監修

修習
訴訟記錄 第一審

〔土地所有權確認事件〕

東京 巖松堂店書發兌

352-192



		事件ノ標目		記 録 番 號		民事第一審訴訟記録
		土地所有權 確認		大正四年(ノ)第一〇〇〇號		
原告	被告	代理人	代理人	保存始期	保存終期	日本地方裁判所第六民事部
小川清太郎	熊本猛	金田銀造	竹村茂	大正 年 月 日	大正 年 月 日	

大正
11. 5. 29
内交

文 書	ノ	標 目	丁 数	備 考
〔日本地方裁判所第六民事部〕				
訴 状			一	
原告代理委任状			七	
期日呼出状送達證書			八	
訴状及期日呼出状送達證書			九	
被告代理委任状			一〇	
答 辯 書			一一	
第一回辯論調書			一三	
配録取寄ノ申請			一七	
日本區裁判所へ記録送附方囑託書			一八	

(注意)丁數欄内ノ數字ハ便宜本書ノ頁數ニ依ル

證人訊問申請	一九
記錄閱覽申請	二一
第二回辯論調書	二二
證人小川濁造訊問調書	二五
同 同 人宣誓書	二九
同 川口浩三訊問調書	三〇
同 同 人宣誓書	三三
記錄閱覽申請	三四
乙第一、二、三號證寫	三五
第三回辯論調書	四三
甲第一、二號證寫	四七

期日變更決定書	五五
辯論再開申請	五六
決定原本	五八
期日呼出狀送達證書	六〇
同	六一
第四回辯論調書	六二
乙第四、五、六號證寫	六五
甲第一、二號證寫	七四
甲第一、二號證寫送達證書	八一
乙第四號證寫送達證書	八二
判決言渡調書	八三

判決原本	八五
判決正本送達申請	九二
判決正本送達證書	九三
同	九四
記録送附請求書	九五
記録送附書	九六

訴 狀

(受付大正四年十一月廿六日)

印 紙
三十六圓

東京市下谷區茅町三千番地

原 告 小川清太郎

東京市日本橋區濱町一丁目八百番地

辯護士

右訴訟代理人 金田銀造

東京市本郷區臺町九百番地

被 告 熊本猛

土地所有權確認請求ノ訴

請求ノ目的

一、一定ノ申立記載土地ノ所有權確認ヲ求ムルニアリ
土地ノ見積價格七千圓也

四ノ第一〇〇〇號
民 六 部



一定ノ申立

東京府豊多摩郡高井村大字栗山字大原五百番山林一反歩同字五百一番宅地百坪ハ原告ノ所有ナルコトヲ確認ス訴訟費用ハ被告ノ負擔トストノ判決ヲ求ム

請求ノ原因

一、被告ハ大正二年十月一日金千圓ヲ利子年一割二分返濟期限大正三年九月三十日ノ定メニテ原告ニ貸付ケタル債權ノ擔保トシテ一定ノ申立ニ記載セル原告所有ノ土地並ニ外二筆ノ土地ニ對シ抵當權ヲ有スト稱シ大正四年一月十日抵當權ノ實行トシテ該土地ノ競賣ヲ東京區裁判所ニ申請（同裁判所大正四年（六〇〇）號事件）シタル結果同年十月十日被告ニ代金七千圓ニテ競落ヲ許可スル旨ノ決定アリ該決定確定シタリ仍テ被告ハ本件土地ニ對シ所有權ヲ有スト主張シ居ルモノ也

二、然ルニ前記消費貸借ナルモノハ目的物タル金圓ノ授受ナカリシモノナルガ故ニ全然成立セズ從テ其ノ擔保トシテ本件土地ニ對シ

設定シタル抵當權モ亦當然無効ナルヲ以テ斯ル抵當權ニ基キ爲サレタル競賣手續モ亦當然無効タルヲ免レス、サレハ被告カ本件土地ノ競落許可決定ヲ得タリトスルモ之レカ爲メ該土地所有權ヲ取得スヘキ道理ナキヲ以テ本訴ニ及ヒ候也

立證方法

一、口頭辯論ノ際提出可仕候

附屬書類

一、訴訟代理委任狀 一通

大正四年十一月二十六日

右

原告訴訟代理人

金田 銀



日本地方裁判所長
判事 甲山乙造殿

期日	大正五年一月十七日午前 九時
指定	日本地方裁判所第六民事部 裁判長 大正四年十二月七日

印紙
貳錢

訴訟委任狀

拙者儀東京市日本橋區濱町一丁目八百番地辯護士金田銀造氏ヲ以テ
訴訟代理人ト定メ左ノ事項ヲ委任ス

- 一、自分ヨリ熊本猛ニ係ル東京府豊多摩郡高井村大字栗山字大原
五百番一山林一反歩外一筆ノ土地所有權確認ノ訴ニ關シ民事訴
訟法第六十五條第一項第二項ニ記載ノ行爲ヲ爲スコト
 - 二、辨濟ノ受領ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲スコト
 - 三、復代理人ノ選任ヲ爲スコト
- 右訴訟代理委任狀仍而如件

大正四年十一月二十五日

小川清太郎

印

高

日本地方第六民事部

職第一七〇號

送達證書

交	日本地方 大正四年(一〇〇〇號) 裁判所	送達ノ年 大正四年十二月八日
付	一、大正五年一月十七日午前九時 ノ口頭辯論期日呼出狀 一通	送達ノ時 午前十時四十八分
書		受取人ノ記名 捺印ノ若シ能ハサル時ハ其理由
類		送達ノ場 日本橋區濱町一丁目八百番地
受送達者	金田銀造	民事訴訟法第百四十五條乃至第四百九條ノ規定ニヨリテ送達ヲ爲シタル時ハ其事由

右之通送達施行候也
 大正四年十二月八日
 日本區裁判所執達吏間口狹太郎代理
 吉岡政造 印

第六民事部
 大正四年(一〇〇〇號)

郵便送達證書

一	受取本人熊本 猛	送達ノ年月日 大正四年十二月十六日
二	受取本人署名捺印スルコト能ハス	送達ノ場 午後二時十五分
三	受取本人封書ヲ受取署名捺印スルコトヲ拒ミタリ	送達ノ場所 本郷區臺町九〇〇番地
四	本人不在ニ付成長シタル男女ニ渡シタリ	右之通取扱候也 本郷郵便局
五	本人不在ニ付(雇人ニ渡シタリ)筆生ニ渡シタリ(役員)	大正四年十二月十六日 配達人 藤田 齊印

大正五年一月十七日
 一訴狀及期日呼出狀
 日本地方裁判所第六民事部發
 熊本 猛 宛

六 本人成長シタル男女雇人筆生役員理由ナク受取リヲ拒ミタルニ付其ノ場ニ差置キタリ
 七 本人其家族雇人等ノ書類ヲ受取ル者ナカリシニ付市町村長ニ預置キ住居事務所ノ戸ニ告知書ヲ點付シ且其旨ヲ隣家ノ者ニ通知シタリ

★二乃至七ノ各欄ハ斜線ヲ以テ抹消ス

印紙
貳錢

訴訟委任狀

拙者儀辯護士竹村茂氏ヲ以テ代理人ト定メ左ノ事項ヲ委任ス

- 一、小川清太郎ヨリ拙者ニ對スル日本地方裁判所大正四年(ワ)第一〇〇〇號土地所有權確認訴訟事件ノ訴訟行爲一切ノ件
 - 二、民事訴訟法第六十五條第一項第二項ニ關スル一切ノ件
 - 三、辨濟ノ受領ニ關スル一切ノ件
 - 四、復代理人ヲ選任ノ件
- 右訴訟代理委任狀仍而如件

本郷區臺町九百番地

熊本 猛

大正四年十二月廿日

日本地方裁判所民事第六部大正四年(ワ)第一〇〇〇號
受付大正四年十二月二十五日

答辯書

印紙
貳拾五錢

原告 小川清太郎
被告 熊本 猛

一定ノ申立

原告ノ請求ヲ棄却シ訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

事實

一、被告ハ原告主張ノ如ク大正二年十月一日原告ニ對シ金千圓ヲ利子年一割二分返濟期限大正三年九月三十日ト定メテ貸付ケ擔保トシテ本件土地並ニ外二筆ノ土地ニ對シ抵當權ヲ設定シタルコト及ヒ大正四年一月中右抵當權ノ實行トシテ右土地ノ競賣ヲ申立テタ

ル結果被告ニ於テ之ヲ競落シタルコトハ總テ之ヲ認ム

二、右消費貸借ニ付キテハ現實ニ金圓ノ授受ナカリシモノナリトノ事實ハ之ヲ否認ス即チ金圓ハ現實之ヲ授受シタルモノナリ元來本件消費貸借ノ成立シタル次第ハ訴外小川濁造ナル者北豊多摩郡四高村大字吉田五反ノ土地ヲ大野小助ヨリ代金參千圓ニテ買受ケタルモ其ノ代金ノ支拂ニ窮シ被告ニ金參千圓ノ金借ヲ申入レタリ、然ルニ右地所ハ其ノ實價千五百圓ノ價值スラナク唯タ當時其附近ニ或ル工場設置ノ計劃アリシヲ以テ其ノ設置ノ曉ハ地價昂騰スヘシト氣構エ殆ント倍價ニ買入レタルニ過キス仍テ被告ハ右三千圓貸付ヲ拒ミタルカ彼此交渉ノ末前記地所ハ之ヲ貳千圓ト見積リ賣渡擔保ノ意味ニテ被告ハ直接其ノ所有者ヨリ之ヲ買受クヘク残り千圓ハ前記小川濁造ノ親戚タル原告ノ所有ニ係ル本件ノ土地及ヒ外二筆ヲ抵當トシテ之レヲ原告ニ貸付クルコトトシ仍テ

本件貸借カ成立シ而シテ此ノ貸金千圓ハ原告ノ代理人タリシ小川濁造ヨリ之ヲ前記大野小助ニ支拂ヒタリ、斯カル次第ナレハ原告カ金圓ノ授受ナカリシ旨主張スルカ如キハ失當ノ甚タシキモノ也
以 上

大正四年十二月二十五日

被告代理人

竹 村 茂 圃

日本地方裁判所

民事第六部御中

日本地方第六民事部

職第三八〇號

送達證書

受達者	送達場所	送達年月日時	受取人ノ記	能ハサレハ	其ノ事由	送達場所	民事訴訟法	第四百五	條乃至第	四十九條	規定ニヨ	リシタル	送達シタ	ルキハ其	事由
金田銀造	日本橋區濱町一丁目八百番地	大正五年一月二十五日午前十時二十分	金田銀造	印シ	ハ	日本橋區濱町一丁目八百番地	第四百五	條乃至第	四十九條	規定ニヨ	リシタル	送達シタ	ルキハ其	事由	

右之通送達施行候也
大正五年一月廿五日

日本區裁判所執達吏村田久代理
瀬戸川政一郎

書式第二六號

列席事件ノ呼上ヲ爲シタルニ

調書 (口頭辯論)

原告 小川清太郎
被告 熊本猛

右當事者間ノ大正四年(ワ)第一〇〇〇號土地所有權確認事件ニ付キ大正五年一月十七日午前九時當地方裁判所第六民事部ノ公開法廷ニ於テ

裁判長判事 丙 谷 深
判事 丁 野 廣
判事 戊 川 淺
裁判所書記 己 山 高

原告代理人 金田銀造
各出頭
被告代理人 竹村 茂

右法廷ニ於ケル辯論ニ關シ明確ニスル條項左ノ如シ

原告代理人ハ

訴狀ニ基キ一定ノ申立ヲ爲シタリ

被告代理人ハ

請求棄却ノ判決ヲ求メタリ

原告代理人ハ

訴狀ノ通り請求原因ヲ演述シ消費貸借及ヒ抵當權設定ノ意思
表示ハ爲シタルモ目的タル金錢ノ授受ナキ爲メ成立セザリシ
モノナリト釋明シタリ

被告代理人ハ

被告ハ大正二年十月一日登記所ノ代書人方ニ於テ原告代理人

小川濁造ニ現金ヲ交付シタルヲ以ツテ消費貸借及ヒ抵當權ハ
有效ニ成立シタルモノナリト主張シ原告代理人主張ノ如キ競
落許可決定アリタルコトヲ認メ其他別紙答辯書ノ如ク陳述シ
タリ

原告代理人ハ

小川濁造カ原告ノ代理人ナルコトヲ認メ現金ノ授受ヲ否認シ

別紙申請書ノ通り證人小川濁造川口浩三ノ訊問ヲ求メタリ

被告代理人ハ

異議ナシ

別紙申請書ノ通り記録ノ取寄ヲ求メタリ

原告代理人ハ

異議ナシ

裁判長ハ

合議ノ上原告代理人ノ申出ニ係ル右證人ヲ訊問シ被告代理人
申請ノ記録ヲ取寄ス旨ヲ言渡シ

次回ノ期日ヲ來ル二月七日午後一時ト指定シ各代理人ニ出頭
ヲ命シタリ

右調書ハ法廷ニ於テ關係人ニ示シタル處之レヲ承諾シタリ

大正五年一月十七日

日本地方裁判所第六民事部

裁判所書記 己 山 高 圃
裁判長判事 丙 谷 深 圃

記録取寄ノ申請

原告 小川清太郎
被告 熊本猛

右當事者間ノ御廳大正四年(ワ)第一〇〇〇號土地所有權確認事件ニ付
キ左記ノ申請ニ及ヒ候也

取寄スヘキ記録及ヒ官廳ノ表示

異議申立人小川清太郎相手方熊本猛間ノ日本區裁判所大正四年(ワ)第
六〇〇號不動産競賣異議事件ノ記録ヲ同裁判所ヨリ取寄スルコト

大正五年一月十七日

被告代理人

竹村茂圃

日本地方裁判所

第六民事部御中

囑託書

當廳大正四年(ワ)第一〇〇〇號原告小川清太郎被告熊本猛間ノ土地所有權確認事件ニ付キ左記ノ書類送付相成度大正五年一月十七日證據決定ニ基キ此段及囑託候也

大正五年一月三十一日

日本地方裁判所第六民事部

裁判長 判事 (丙谷)

日本區裁判所御中

一、日本區裁判所大正四年(ヌ)第六〇〇號不動產競賣異議事件ノ記錄一切

以上

印紙
壹圓

證人訊問申請

東京府豊多摩郡高井村字栗山六百番地

證人 小川 濁 造

同府同郡大田町字原三千番地

證人 川 口 浩 三

御廳大正四年(ワ)第一〇〇〇號土地所有權確認請求事件ニ付前記ノ者ヲ證人トシテ左記事項御訊問相成度申請候也

小川濁造ニ對スル訊問事項

- 一、證人ハ大正二年十月一日借用人ヲ原告トセル金千圓利子年一割二分返済期限大正三年九月三十日ノ土地抵當金圓借用證書ヲ被告ニ差入レ同日該借用證ニ基キ原告ノ代理人トシテ原告所有ニ係ル豊多摩郡高井村大字栗山字大原五百番山林一反步同字五百一番宅

地百坪ノ土地ニ對スル抵當權設定ノ登記ヲ爲シタルコトアリヤ
 一、右登記ニ必要ナル書類ハ何人ヲシテ作成セシメタリヤ
 一、登記當日ニ貸金千圓ノ授受アリタリヤ否ヤ
 川口浩三ニ對スル訊問事項
 一、大正二年十月一日被告及小川濁造ノ爲メ貸金證書ヲ作成シタル
 コトアリヤ否ヤ、若シアラハ其ノ事實及ヒ貸金授受ニ關スル事實
 ノ顯末

以 上

大正五年一月十七日

右

原告代理人 金 田 銀 造 團

日本地方裁判所

第六民事部御中

二月七日開廷

記録閲覧申請書

大正四年(ワ)第一〇〇〇號
 原告 小川 清 太 郎
 被告 熊 本 猛

右記録閲覧申請候也

大正五年一月 日

右代理人

竹 村 茂 團

日本地方裁判所

第六民事部御中

調書 (口頭辯論)

原告 小川清太郎
被告 熊本猛

右當事者間ノ大正四年(第一〇〇〇號土地所有權確認事件ニ付キ大正五年二月七日午後一時當地方裁判所第六民事部ノ公開法廷ニ於テ

裁判長判事 丁野廣

判事 庚田耕六

判事 戊川淺

裁判所書記 己山高

列席事件ノ呼上ヲ爲シタルニ

原告代理人 金田銀造
被告代理人 竹村茂 各出頭

右法廷ニ於ケル辯論ニ關シ明確ニスル條項左ノ如シ

裁判長ハ

別紙通り證人小川濁造、川口浩三ヲ訊問シタリ

裁判長ハ辯論ノ更新ヲ命シタリ

當事者代理人ハ大正五年一月十七日付口頭辯論調書ト同一ノ申

立及ヒ事實上ノ陳述ヲ爲シタリ

裁判長ハ

合議ノ上取寄書類未着ニ付キ職權ヲ以テ辯論ヲ續行スル旨ヲ告

ケ次同期日ヲ來ル三月一日午前九時ト指定シ各代理人ニ出頭ヲ

命シタリ

右調書ハ法廷ニ於テ關係人ニ示シタル處之レヲ承諾シタリ

大正五年二月七日

日本地方裁判所第六民事部

裁判所書記	己	山	高
裁判長判事	丁	野	廣
			園

調 書 (證人訊問)

小 川 濁 造

右ハ大正四年ワ第一〇〇〇號

原告 小川清太郎

被告 熊本 猛

問ノ土地所有權確認事件ニ付キ證人トシテ出頭セリ、仍テ裁判長ハ
 偽證ノ罰ヲ諭示シ別紙宣誓書通リ宣誓セシメタル上後ニ訊問スヘキ
 證人ノ在ラサル處ニ於テ訊問シタリ

證人ノ供述ハ左ノ如シ

- 一、氏 名 小川濁造
- 一、年 齡 四十五歲
- 一、身 分 平 民

一、職業 農

一、住居 東京府豊多摩郡高井村大字栗山六百番地

一、當事者ト被後見人同居人又ハ雇人ノ關係ナシ

一、證人ハ原告ノ甥ナリ大正二年十月一日證人ハ原告ノ代理人トナリ債權者ヲ被告トシ、債權額ヲ千圓、辨濟期ヲ大正三年九月三十日、利息ヲ年一割二分トセル借用證ヲ代書人川口浩三ニ依頼シテ作成シ高井村大字栗山字大原五百一番宅地百坪、同所五百番山林一反歩ニ付キ抵當權設定登記ヲ爲シタルコトアリ

一、右貸借ニ付テハ現金ノ授受ハ無ク證人モ亦原告自身モ更ニ金圓ヲ受取ラス固ヨリソノ以前ニ別ニ貸借關係等アリタルコトモ無キ故他ノ債務ヲ消費貸借ニ改メタル次第ニモアラス、然ラハ何故抵當權設定ノ登記ナトヲ爲セシヤト申スニ先是大正二年頃證人ハ原告ヨリ貳千圓ノ金策ヲ頼マレタルコトアリ其際自分ハ

イヨノ／＼金圓ヲ借入ルルトナレハ自然抵當權設定ノ必要モアルヘケレハ先ツ原告所有土地ニ付キ保存登記ヲ爲シ置クカ便利ナリト申シタルニ依リ原告ハ其旨ノ登記ヲ爲スコトヲ證人ニ依頼シタルコトアリ併シ勿論抵當權設定ノ登記ナトハ依頼セラレタル次第ニアラネト兎ニ角右様ノ依頼アリシ故證人ニ於テ抵當權登記ヲ原告ニ無斷ニテ爲シタル譯合ナリ

被告代理人ノ求メニヨリ乙第一號證ヲ示ス

一、此ノ證書ハ存シ居レリシカシ證人ハ文字ヲ知ラサル故其内容ナトハ毫モ之ヲ知ラスニ調印シタル次第ナリ

一、此レニ記載セル土地ノ賣買ニハ原告ハ全ク關係ナシ、本件ノ借金ハ此ノ賣買代金ノ支拂ニ充テタリナト云フ譯ニハアラス

右調書ハ法廷ニ於テ關係人ニ示シタル處之レヲ承諾シタリ

大正五年二月七日

日本地方裁判所第六民事部

裁判所書記

己 山

高 岡

裁判長判事

丁 野

廣 岡

良心ニ從ヒ眞實ヲ述ヘ何事ヲモ默秘セス、又何事ヲモ附加セサルコ
トヲ誓フ

宣 誓 書

證 人 小 川 濁 造 岡

調書 (證人訊問)

川口浩三

右ハ大正四年ワ第一〇〇〇號

原告 小川清太郎

被告 熊本 猛

問ノ土地所有權確認事件ニ付キ證人トシテ出頭セリ、仍テ裁判長ハ
偽證ノ罰ヲ諭示シ別紙宣誓書ノ通り宣誓セシメタル上後ニ訊問スヘ
キ證人ノ在ラサル處ニテ訊問シタリ

證人ノ供述ハ左ノ如シ

一、氏名 川口浩三

一、年齢 五十歳

一、身分 平民

一、職業 代書業

一、住居 東京府豊多摩郡大田町大字原一千番地

一、當事者ト親族被後見人同居人又ハ雇人ノ關係及ヒ直接利害關係ナシ

一、證人ハ大田登記所ノ構内代書人ナリ、大正二年九月頃小川濁造、熊本猛同道シテ證人方ニ來リ、同人ノ依頼ニヨリ債權者熊本猛、債務者小川清太郎、債權額一千圓、利息年一割二分、辨濟期大正三年九月三十日ノ借用證書ト抵當權設定登記申請書類一切ヲ作成シタルコトアリ、抵當物件ハ高井村大字栗山ノ土地ナリシカ何筆ナリシカハ覺エ居ラス、濁造ハ清太郎ノ代理人トシテ參リタル次第ナリ、登記ハ午後二、三時頃完了シタルカ登記濟ト同時ニ金圓ノ取引アリシタヤ否ヤハ多忙ナリシ爲メ自分ニハ判然セス左レト千圓ト申セハ大金ナル故若シ取引アリシナ

ラハ記憶アル筈ナリ、記憶ナキトコロヨリ考ヘレハ取引ナカリ
シ様ニ思ハル

右調書ハ法廷ニ於テ關係人ニ示シタル處之ヲ承諾シタリ

大正五年二月七日

日本地方裁判所第六民事部

裁判所書記 己

山

高 圃

裁判長判事 丁

野

廣 圃

宣 誓 書

良心ニ從ヒ眞實ヲ述ヘ何事ヲモ默秘セス、又何事ヲモ附加セサルコ
トヲ誓フ

證 人 川 口 浩 三 圃

記録閲覧申請

四年(ワ)第一〇〇〇號

原告 小川清太郎
被告 熊本猛

右記録閲覧申請候也

大正五年二月十二日

右代理人

竹村茂圃

日本地方裁判所

第六民事部御中

證據物寫

乙一號證

契約證

北豊多摩郡四高村大字吉田四千番外二筆ノ土地ニ付テ熊本猛小川濁造間ニ左記契約締結シ本證二通ヲ作成シ各自一通ヲ所持ス

一、熊本猛ハ前記土地ヲ一ケ年内ニ小川濁造ト相談ノ上賣却シ利益ヲ得タル時ハコノ利益ヲ小川濁造ニ分配スルコトヲ約ス分配ノ標準ハ第四項ニ之ヲ定ム

二、小川濁造ハ右ノ利益分配ヲ受クル爲メ大正二年十月一日小川清太郎ヲシテ同人所有ノ土地ニ對シ熊本猛ノ爲メ元金千圓ニ對スル抵當權ヲ設定セシムルコト

三、小川濁造ハ熊本猛ニ對シ金參千圓ニ對スル年一割二分ノ利子

- ヲ大正三年三月三十一日同年九月三十日ノ兩度ニ支拂フコト
- 四、即チ賣買代金中ヨリ元金參千圓及ヒ第三項所定ノ利子及ヒ賣買費用ヲ控除シタル殘金ヲ六分シ其一分ハ熊本猛ノ所得トシ其ノ五分ハ之ヲ小川濁造ノ所得トスルコト
- 五、前項所載賣買費用ハ金參百六拾圓トス
- 六、小川濁造ニ於テ第三項所定ノ利子支拂ヲ忘リタルトキハ第二項所載ノ千圓ノ期限ハ其翌日ヲ以テ到來スルモノトシ抵當不動產ハ債權金額即チ金千圓ヲ以テ熊本猛ニ賣渡サレシコトトシ其登記ヲ實行スルコト
- 七、第一項所定ノ期間内ニ土地ヲ他ヘ賣却シタルトキハ熊本猛ハ無償ニテ第二項ノ抵當權設定登記ノ抹消ヲ申請スルコト
- 八、本契約ハ大正二年十月一日ヨリ同三年九月三十日迄ノ有效期間トシ此期間經過後ハ當然無效トス

大正二年十月一日

東京市本郷區臺町九百番地

熊本 猛 團

東京市下谷區茅町三千番地

小川 濁 造 團

東京市小石川區指ヶ谷町四十五番地

坂田 豊 太 郎 團

右寫ノ通り相違無之候

大正五年 月 日

訴訟代理人

竹 村 茂 團

東京地方裁判所

第六民事部御中

證據物寫

(但シ原本ハ日本區裁判所大
正四(六)六〇〇號記錄ニ在リ)

乙二號證

證人訊問調書

證人 坂 田 豊 太 郎

中略

判事ハ乙一號證ヲ示シテ訊問シタルニ證人ノ供述如左

一、同證ハ同證記載ノ五反歩ノ土地ヲ證人カ大野小助ヨリ參千圓ニテ買受ケ其ノ登記前又之レヲ證人ヨリ小川濁造ニ同價額ニテ賣渡シ同人ハ又々之レヲ熊本猛ニ賣渡シタル取引ニ關シ作成セラレシモノニテ證人ハ熊本猛、小川濁造兩人ノ依頼ニヨリ立會人トナリテ之ニ署名シタルモノナリ

一、此土地ハ其當時工場用地トシテ其筋ニ買上ケラルヘシトノ風説

アリ然ル時ハ多大ノ利益アル見込ナリシ故普通ハ一反歩約三百圓位ナルモ特ニ坪二圓ニテ買入レタルモノ也、然レトモ證人ハ其ノ代金支拂ニ差支ヘシ故之レヲ小川濁造ニ賣渡シ同人モ亦資金不足ナリシ爲メ熊本猛ヨリ金三千圓ヲ借入レ其ノ擔保ノ意味ニテ右土地ヲ同人ニ賣渡シ後日同人カ之ヲ他ニ賣却シテ利益ヲ得タル場合ハ其ノ利益ノ中ヨリ利子ニ相當スル金額ヲ控除シ殘部ノ内幾部ヲ小川濁造ニ分ツヘク若シ利益ナキトキハ利子トシテ濁造ヨリ金參百六拾圓ヲ熊本ニ拂フコトトシ仍テ乙一號證ノ契約ヲ締結シタル次第ナリ證人モ小川濁造ヨリ利益ノ幾分ヲ分配セララルル約ナリキ以下略

右調書ハ法廷ニ於テ關係人ニ讀聞カセタル處之ヲ承諾シタリ

大正四年三月十七日

日本區裁判所

乙三號證

裁判所書記 文字尾 書 造 ㊟
判 事 河 田 眞 吉 ㊟

證人訊問調書

證 人 小 川 濁 造

中畧

判事ハ乙一號證ヲ證人ニ示シテ訊問シタルニ供述如左

一、證人ノ知人坂田豊太郎ハ大野小助ヨリ證書記載ノ五反歩ノ土地ヲ一坪二圓ノ割ニテ買入レ内金五百圓ヲ入金シタルカ殘金約二千五百圓ノ支拂ニ差支ヘ證人ニ何トカ都合シ吳レスヤト相談シ來リタル結果證人ハ其土地ヲ同價格ニテ引受ケタリ、然ルニ證人モ其ノ資金ニ差支ヘタルヲ以テ知合ナル日比谷園吉ニ相談シ同人ノ周旋ニテ同人ノ親戚熊本猛ニ右土地全部ヲ賣却シテ金融ヲ得タリ御

示ノ乙一號證ハ此時作成シタル證書ニテ大正二年十月一日正副二通ヲ作成シ證人ト熊本各自一通ヲ所持シタリ同號證ノ本文及ヒ日付ハ二通共熊本カ執筆シ證人及ヒ坂田豊太郎ニ讀聞カセタル後各自署名捺印シタルモノナリ

一、右ノ土地ハ工場設置ノ爲メ其ノ筋ヨリ買上ケラルヘシトノ風評アリシ故證人ハ先ツ之レヲ買占メテ利益ヲ得ン考ニテ普通ハ一反歩三百五六拾圓位ノモノナレト特ニ坪二圓ニテ買入レタルモノ也、然ルニ之レヲ熊本ニ賣渡ス際同人ハ坪二圓ニテハ承諾セサリシ故已ムナク二千五百圓ニテ賣渡シタリ、然ルニ證人ハ既ニ右土地買入レニ關シテ三百六拾圓ヲ出金シ居リタリ

以下畧

右調書ハ法廷ニ於テ關係人ニ讀聞カセタル處之レヲ承諾シタリ

大正四年四月十五日

日本區裁判所

裁判所書記 文字 尾書造 ㊟
判事 河田 眞吉 ㊟

右寫ノ通り相違無之候

大正五年 月 日

竹村 茂圃

日本地方裁判所

第六民事部御中

調書 (口頭辯論)

原告 小川 清太郎
被告 熊本 猛

右當事者間ノ大正四年(ワ)第一〇〇〇號土地所有權確認事件ニ付キ大
正五年三月一日午前九時當地方裁判所第六民事部ノ公開法廷ニ於テ

裁判長判事 丁野 廣
判事 庚田 耕六
判事 戊川 淺
裁判所書記 己山 高

列席事件ノ呼上ケ爲シタルニ

原告代理人 金田銀造
被告代理人 竹村 茂 各出頭

右法廷ニ於ケル辯論ニ關シ明確ニスル條項左ノ如シ

被告代理人ハ

書類ノ取寄申請ヲ拋棄シタリ

乙第一號證ヲ提出シテ現金ノ授受アリタルコトヲ立證シタリ

乙第二、三號證トシテ證人訊問調書等ヲ提出シ乙第一號證ト同一ノ事實ヲ立證シタリ

原告代理人

前回取調ヘタル證人小川濁造川口浩三ノ各供述ヲ援用シタリ

乙第一號證ノ成立ヲ認メ乙第二、三號證カ原本ト同一ナルコトヲ認メタリ

甲第一號證ノ一、二トシテ證人訊問調書ノ寫ヲ提出シ尙乙第一號證ヲ援用シ之ト相俟テ被告ト訴外小川濁造間ニ於ケル賣渡擔保ニヨリ被告カ濁造ニ三千圓ヲ貸與シタルコトアレトモ被告主張ノ如

ク被告ト原告間ニ金壹千圓ノ貸借ナルモノハ存在セサルコトヲ立證シタリ

甲第二號ヲ提出シテ同様ノ事實ヲ立證シタリ

被告代理人

甲第一號證ノ一、二カ原本ト同一ナルコト及甲第二號證ノ成立ヲ認メタリ從來ノ答辯事實ヲ訂正シ三千圓ノ内二千圓ヲ原告ノ代理人小川濁造ニ交付シ其ノ殘金千圓ハ原告ノ代理人トシテノ同人ノ承諾ヲ得タル上之レヲ以テ同人ヨリ大野小助ニ關スル債務ヲ被告ニ於テ代リテ辨濟シタリト述ヘタリ

甲第二號證ヲ援用シ原告ニ三千圓ヲ貸與シタル事實ヲ立證シタリ

原告代理人ハ

被告ノ前記抗辯事實ハ之ヲ認メス且ツ原告ノ承諾ヲ得サレハ事實ノ訂正ヲ爲スコトヲ得スト述ヘタリ

當事者各代理人ハ
訴訟關係ヲ表明シ且ツ證據調ノ結果ニ付キ各辯論ヲナシタリ
裁判長ハ

合議ノ上辯論ヲ閉チ

判決言渡期日ヲ來ル三月八日午前九時ト指定シ各代理人ニ出張ヲ
促シタリ

右調書ハ法廷ニ於テ關係人ニ示シタル處之レヲ承諾シタリ

大正五年三月一日

日本地方裁判所第六民事部

裁判所書記 己 山 高 園
裁判長判事 丁 野 廣 園

證據物寫

甲第一號證ノ一

證人訊問調書(日本區裁判所大正四年(卯)第六〇〇號
不動産競賣事件記録在中ノモノ)

證人 坂 田 豊 太 郎

中畧

判事ハ乙一號證ヲ示シテ訊問シタルニ證人ノ供述如左

一、同證ハ同證記載ノ五反歩ノ土地ヲ證人カ大野小助ヨリ三千圓ニ
テ買受ケ其ノ登記前又之レヲ證人ヨリ小川濁造ニ同價額ニテ賣渡
シ同人ハ又々之レヲ熊本猛ニ賣渡シタル取引ニ關シ作成セラレシ
モノニテ證人ハ熊本猛、小川濁造兩人ノ依頼ニヨリ立會人トナリ
テ之ニ署名シタルモノナリ

一、此土地ハ其當時工場用地トシテ其筋ニ買上ケラルヘシトノ風

説アリ然ル時ハ多大ノ利益アル見込ナリシ故普通ハ一反步約三百圓位ナルモ特ニ坪二圓ニテ買入レタルモノ也、然レトモ證人ハ其代金支拂ニ差支ヘシ故之レヲ小川濁造ニ賣渡シ同人モ亦資金不足ナリシ爲メ熊本猛ヨリ金三千圓ヲ借入レ其ノ擔保ノ意味ニテ右土地ヲ同人ニ賣渡シ後日同人カ之ヲ他ニ賣却シテ利益ヲ得タル場合ハ其ノ利益ノ中ヨリ利子ニ相當スル金額ヲ控除シ殘部ノ内幾部ヲ小川濁造ニ分ツヘク云々(以下畧)

判事ハ相手方代理人ノ求メニヨリ訊問シタルニ供述如左

一、小川清太郎ハ其後熊本猛ヨリ催告ヲ受ケシ際曩ニ小川濁造カ熊本ニ差入レタル證書ハ全部無効トナルヘキモノナレハ其ノ交渉ノタメ熊本方ヘ行クニ付キ同道シ吳レヨト證人ニ頼ミシ故證人ハ清太郎及ヒ濁造ト共ニ熊本方ヘ赴キタルコトアリ

右調書ハ法廷ニ於テ關係人ニ讀聞カセタル處之レヲ承諾シタリ

大正四年三月十七日

日本區裁判所

裁判所書記

文字尾書造

判事

河田真吉

甲第一號證ノ二

證人訊問調書同上

證人 小川 濁造

中畧

一、右ノ土地ハ工場設置ノ爲メ其ノ筋ヨリ買上ケラルヘシトノ風評アリシ故證人ハ先ツ之レヲ買占メテ利益ヲ得ン考ニテ普通ハ一反歩三百五六十圓位ノモノナレト特ニ坪二圓ニテ買入レタルモノ也、然ルニ之レヲ熊本ニ賣渡ス際同人ハ坪二圓ニテハ承諾セサリシ故已ムナク二千五百圓ニテ賣渡シタリ、然ルニ證人ハ既ニ右土地買入レニ關シテ三百六十圓ヲ出金シ居リタリ(以下畧)

一、右千圓ノ抵當權ヲ設定スル際證人ハ熊本ニ對シ右設定ハ抵當土地ノ所有者タル清太郎ニ無斷ニテ爲スモノナル故可成速カニ始末ヲ付クル必要上辨濟期ヲ一、二ヶ月後ニセラレ度キ旨談シタルニ

甲第二號證

熊本ハ長クトモ一ヶ年ヲ經過スレハ責任ナキコトニナリ此ノ設定證書モ亦從ツテ反古トナルモノ故辨濟期ハ一ヶ年ニ定ムヘシト云ヒシヨリ其ノ如ク定メタルモノナル故證人カ清太郎ニ無斷ニテ抵當ニ入レタルコトハ熊本ハ十分承知ノ筈ナリ(以下畧)

右調書ハ法廷ニ於テ關係人ニ讀聞カセタル處之レヲ承諾シタリ

大正四年四月十五日

日本區裁判所

裁判所書記 文字 尾書造
判 事 河田 眞吉

(甲第四號證トシテ日本區裁判所四年(六〇〇)號事件ニ付キ提出セルモノナリ)

表紙

明治四十四年九月

日誌

熊本

大正二年

九月一日 署ス

中署

九月三十日 坂田豊太郎ト小川濁造ト共同シテ大野小助ヨリ買受ケタル土地ノ登記ハ自分出金關係アレハ自分名義ニテ之ヲ爲ス、右土地反別五段歩代金三千圓ハ大野へ相渡ス其他登記費若干之ヲ支出ス右三千圓ハ買受ケノ土地ヲ二千圓トシ此内清太郎ノ所有土地

ノ抵當物件ニ對シ一千圓合計三千圓ヲ出金セシ也

中署

十月六日 小川ト金尼ト兩人同道來宅殘金ヲ支拂フ但内金手数料トシテ百圓受取ル(以下署ス)

以上

右寫ノ通相違無之候

大正四年 月 日

被申立代理人

竹 村 茂 圃

日本區裁判所御中

右寫ノ通相違無之候

大正五年三月一日

原告代理人

日本地方裁判所
第六民事部御中

金田銀造 ㊟

決定

大正四年(ワ)第一〇〇〇號土地所有權確認事件ニ付キ職權ニ因リ大正
五年三月八日午前九時ノ判決言渡期日ヲ變更ス
大正五年三月八日

東京地方裁判所第六民事部

裁判長判事 丁野廣 ㊟

判事 庚田耕六 ㊟

判事 戊川淺 ㊟

第六民事部
四(ワ)第一〇〇〇號

二十五錢
印紙

口頭辯論再開申請

御廳大正四年(ワ)第一〇〇〇號原告小川清太郎被告熊本猛間ノ土地所有權確認請求事件御結審ニ相成候得共左ノ理由ニ依リ辯論再開申請候也

- 一、本訴提起當時被告ハ本件土地ニ付キ未タ所有權移轉登記ヲ爲シ居ラサリシヲ以テ原告ハ單ニ所有權確認ノ判決ヲ求メタル次第ナレト其後被告ハ其登記ヲ爲シタル趣ニ付キ申立ヲ擴張シ該登記抹消ノ判決ヲ求メ度候
- 二、本件消費貸借不存在ノ義ニ付キ被告ノ本人訊問ヲ申請致度候

大正五年三月十日

原告代理人

金田銀造

日本地方裁判所

第六民事部御中

四ノ第一〇〇〇號

決定

原告 小川清太郎
被告 熊本猛

右當事者間ノ大正四年(ワ)第一〇〇〇號土地所有權確認請求事件ニ付
キ決定スル事如左

主文

本件ニ付キ閉テタル辯論ノ再開ヲ命ス

大正五年三月十日

日本地方裁判所第六民事部

裁判長判事 丁野廣
判事 庚田耕六

ワ第一〇〇〇號

口頭辯論期日指定

大正五年三月十五日午前九時

大正五年三月十日

日本地方裁判所
第六民事部

裁判長

判事 戊川淺

調書 (口頭辯論)

原告 小川清太郎
被告 熊本猛

右當事者間ノ大正四年(一〇〇〇)號土地所有權確認事件ニ付キ大正五年三月十五日午前九時當地方裁判所第六民事部ノ公開法廷ニ於テ

裁判長判事 丁野廣

判事 庚田耕六

判事 戊川淺

裁判所書記 己山高

列席事件ノ呼上ヲ爲シタルニ

原告代理人金田銀造被告代理人竹村茂各出頭

右法廷ニ於ケル辯論ニ關シ明確ニスル條項左ノ如シ
被告代理人

本件土地ハ競落ニヨリ被告カ所有權ヲ取得セルモ競賣事件ニ付キ
抗告アリタルヨリ競落代金ヲ納付セス從テ未タ競落登記ヲ爲サス
ト述ヘ

乙第四、五、六號證ヲ提出シテ原告ハ抵當權ノ設定ヲ初メヨリ知り居
リタルコトヲ立證ス

原告代理人

乙第四號五號六號證ノ成立ヲ認メ乙第六號證ト同一ノ原本ノ存在
ヲ認ム

尙ホ小川清太郎ノ代理權ハ金額ヲ定メス消費貸借ヲ爲シ抵當權ヲ
設定シ得ル權限丈ナリ、勿論借用シタル現金ハ原告ニ持來スヘキ
約ナリ、而シテ本件ノ貸借ハ貸借後稅務署ヨリノ業書ニテ初メテ

知リタリト述ヘタリ
裁判長ハ

合議ノ上辯論ヲ閉テ

判決言渡ノ期日ヲ來ル三月二十二日午前九時ト特定シ各代理人ニ

出頭ヲ命シタリ

右調書ハ法廷ニ於テ關係人ニ示シタル處之レヲ承諾シタリ

大正五年三月十五日

日本地方裁判所第六民事部

裁判所書記

己

山

高 岡

裁判長判事

丁

野

廣 岡

大正四年(ワ)第一〇〇〇號
乙第四號證 據物寫

面	表
き	は
大正三年八月十一日	豊多摩郡 高井村字栗山 郵便 小川清太郎殿
切手	
淀橋 稅務署	

裏	面
直第二號	
所得調査上必要有之候ニ付	
キ貴下ト貸借關係ヲ有シ居	
ル熊本猛ノ現住所承知致度	
候條乍御手数數至急御回示相	
成度	
右照會候也	

催告狀

東京市本郷區臺町九百番地

催告人 熊本 猛

東京市下谷區茅町三千番地

被催告人 小川 清太郎

催告意思表示

大正二年十月一日土地抵當金圓貸借成立

豐多摩郡高井村栗山字大原五百番地

一、山林五反歩

同所五百一番地

一、宅地百坪

右抵當物件

一、貸付金額三千圓也

大正二年十月一日抵當權設定履行期大正三年九月三十日

一、請求金三百六十圓也

大正二年十月一日ヨリ大正三年九月卅日迄元金三千圓ニ對スル年一割二分ノ利子

催告ノ理由

右ハ催告人ヨリ被催告人ニ對シ大正二年十月一日附ヲ以テ日本區裁判所中野出張所登記第一〇〇號ヲ經テ債權設定シタル登記ノ抹消手續可致様催告人ヨリ右被催告人ニ請求スルモ更ニ應セサルニ付キ大正三年十月十五日限リ登記申請ノタメ中野登記所へ出頭ヲ要ス、申請書提出ト同時ニ債權金額ヲ支拂フ事利金ハ催告狀ノ受領日ヨリ五日間内ニ支拂ノ事

右及催告候也
大正三年十月五日

右 熊 本 猛印

被催告人

小川清太郎殿

東京市本郷區臺町九百番地

發信人 熊 本 猛

東京市下谷區茅町三千番地

受信人 小 川 清 太 郎

本郵便物ハ大正三年十月五日第三九八號書留

内容證明郵便トシテ差出シタルコトヲ證明ス

東京市本郷郵便局

乙第六號證

明治四十四年九月調
日 誌
熊 本

中略

十月二十日、小川清太郎同濁造、坂田豊太郎三名ニテ來ル此時山村
低吉モ同道セリ、依テ本月三十一日迄ニ所有權移轉登記スルヤ否
ヤノ回答ヲナス筈也

中略

十月二十九日、秦龍太郎、小川清太郎ノ依頼ヲ受ケ是非共所有權移
轉ヲ一ヶ月猶豫シ吳レト申シ來ル依ツテ一ヶ月ノ猶豫ヲ承諾スル
ニ付キ移轉ノ登記費トシテ此際金錢或ハ物件ヲ以テ入置クコトヲ

約ス
以上

右寫ノ通り相違無之候也

大正五年三月十五日

被告代理人 竹 村 茂 圃

日本地方裁判所

第六民事部御中

大正四年(ワ)第一〇〇〇號

證據物寫

(赤字)

甲第一號證ノ一

證人訊問調書(日本區裁判所大正四年(ワ)第六〇〇號不動產競賣事件記録在中ノモノ)

證人 坂 田 豊 太 郎

中略

判事ハ乙一號證ヲ示シテ訊問シタルニ證人ノ供述如左

一、同證ハ同證記載ノ五反歩ノ土地ヲ證人カ大野小助ヨリ三千圓ニテ買受ケ其ノ登記前又之レヲ證人ヨリ小川濁造ニ同價額ニテ賣渡シ同人ハ又々之レヲ熊本猛ニ賣渡シタル取引ニ關シ作成セラレシモノニテ證人ハ熊本猛、小川濁造兩人ノ依頼ニヨリ立會人トナリテ

之ニ署名シタルモノナリ

一、此土地ハ其當時工場用地トシテ其ノ筋ニ買上ケラルヘシトノ風説アリ然ル時ハ多大ノ利益アル見込ナリシ故普通ハ一段歩約三百圓位ナルモ特ニ坪二圓ニテ買入レタルモノ也然レトモ證人ハ其代金支拂ニ差支シ故之レヲ小川濁造ニ賣渡シ同人モ亦資金不足ナリシ爲熊本猛ヨリ金三千圓ヲ借入レ其ノ擔保ノ意味ニテ右土地ヲ同人ニ賣渡シ後日同人カ之ヲ他ニ賣却シテ利益ヲ得タル場合ハ其利益ノ中ヨリ利子ニ相當スル額ヲ控除シ殘部ノ内幾部ヲ小川濁造ニ分ツヘク云々(中略)

一、乙一號證ニ署名ノ際同證中ニ抵當云々トアルモ證人ニハ何ノ意味カ分ラヌ故尋ネタル處濁造ハ之レハ清太郎カ白紙委任狀ト登記權利證トヲ渡シテ金千圓計リ融通ヲ頼ミタルコトアリ濁造ハ之レヲ利用シテ抵當トナシタルモノナレトモ一ケ年經過スレハ消滅ス

ルモノ故差支ナシトノ話ナリシカ詳細ノコトハ證人ハ知ラス其後ニ至リ清太郎ヨリ抵當ハ自分ノ知ラサルモノ故告訴スル等ト云フコトヲ聞キタルコトアリ

一、乙一號證ノ文言ハ熊本自ラ認メタリ

判事ハ相手方代理人ノ求メニヨリテ訊問シタルニ供述如左

一、小川清太郎ハ其後熊本猛ヨリ催告ヲ受ケシ際曩ニ小川濁造カ熊本猛ニ差入レタル證書ハ全部無効トナルヘキモノナレハ其ノ交渉ノタメ熊本方ヘ行クニ付キ同道シ吳レヨト證人ニ頼ミシ故證人ハ清太郎及ヒ濁造ト共ニ熊本方ヘ赴キタルコトアリ

右調書ハ法廷ニ於テ關係人ニ讀聞カセタル處之レヲ承諾シタリ

大正四年三月十七日

日本區裁判所

裁判所書記 文字 尾書 造

判事 河田 眞吉

(赤字)

甲第一號證ノ二

證人訊問調書(同上)

證人 小 川 濁 造

(中略)

判事ハ乙一號證ヲ證人ニ示シテ訊問シタルニ其ノ供述左ノ如シ

一、證人ノ知合ナル坂田豊太郎ハ大野小助ヨリ五反歩ノ土地ヲ坪二圓ノ割ノ價ニテ買入レ内金五百圓ヲ入金シタルカ其ノ餘ノ二千五百圓計リノ金ニ差支ヘ證人ニ何トカ都合シ吳レスヤト相談シ來リタル結果證人ハ右土地ヲ同價格ニテ引受ケタリ、然ルニ證人モ其ノ資金ニ差支タル故ヲ以テ知合ナル日比谷園吉ニ相談シ、同人ノ周旋ニテ同人ノ親戚熊本猛ニ右土地ノ全部ヲ賣却シテ金融ヲ付ケタリ乙一號證ハ此ノ時作成シタル證書ニテ大正二年十月一日同號證書

正副二通ヲ作成シ、證人ト熊本各自一通ヲ所持シタリ、同號證ノ本文日付ハ二通共熊本カ筆ヲ執リテ認メタル上證人及坂田豊太郎ニ讀聞カセタル後各自署名捺印シタリ

一、右ノ土地ハ工場設置ノ爲メ其ノ筋ヨリ買上ケラルヘシトノ風評アリシ故證人ハ先ツ之レヲ買占メテ利益ヲ得ン考ニテ普通ハ一反歩三百五六十圓位ノ價ノモノナレト特ニ坪二圓ニテ買入レタルモノ也、然ルニ之レヲ熊本ニ賣渡ス際同人ハ坪二圓ニテハ承諾セサリシ故已ムナク二千五百圓ニテ賣渡シタリ、然ルニ證人ハ既ニ右土地買入レニ關シテ三百六十圓ヲ出金シ居レリ

一、乙一號證ノ第一項ハ熊本カ現在他人即チ大野名義トナリ居ル不確實ノ土地ヲ買入ルルモノナルカ故ニ登記カ熊本ノ名義ニ改マル迄之レカ擔保ヲ供シ置カルヘシトノコトナリシヨリ乙第一號證ノ成立前九月二十五日頃其ノ擔保トシテ千圓ノ抵當權ヲ設定シタ

ルモノナリ、此ノ擔保物タル土地ハ證人ノ叔父タル小川清太郎ノ所有ノ處其ノ以前清太郎ヨリ急カサル故何處ヨリナリトモ成ルヘク安利ノ金千圓計リ融通シ來レヨトテ登記權利證書ト實印トヲ渡シテ頼マレ居リタルヲ證人ハ熊本ヨリ擔保ヲ供セヨト言ハレタル儘ニ前述ノ如ク熊本ニ賣渡シタル土地カ何レニナリ行クトモ結局ハ證人ハ責任ヲ負ハサルコトニ歸スルモノ故清太郎ニ無斷ニテ一千圓ノ抵當ヲ設定シタリ、此ノ設定登記ハ證人坂田、熊本三人登記所ニ出頭シテ登記ヲ經、其ノ登記ニ要スル書類ハ代書人ニ頼ミテ認メタリ

一、右千圓ノ抵當權ヲ設定スル際證人ハ熊本ニ對シ右設定ハ抵當土地ノ所有者タル清太郎ニ無斷ニテ爲スモノナル故可成速カニ始末ヲ付ケル必要上辨濟期ヲ一、二ヶ月後ニセラレ度キ旨談シタルニ熊本ハ長クトモ一ヶ年ヲ經過スレハ責任ナキコトニナリ此ノ設定證

書モ亦從ツテ反古トナルモノ故辨濟期ハ一ヶ年ニ定ムヘシト云ヒシヨリ其ノ如ク定メタルモノナル故證人カ清太郎ニ無斷ニテ抵當ニ入レタルコトハ熊本ハ十分承知ノ筈ナリ(以下略)

右調書ハ法廷ニ於テ關係人ニ讀聞カセタル處之レヲ承諾シタリ

大正四年四月十五日

日本區裁判所

裁判所書記

文

字

尾

書

造

吉

判事

河

田

真

吉

吉

甲第二號證

(甲第四號證トシテ日本區裁判所大正四年(癸)第六〇〇號事件ニ被告ヨリ提出セシモノ也)

表

明治四十四年九月調

日誌

紙

熊本

大正二年

九月一日

略ス

中略

九月三十日 坂田豊太郎ト小川濁造ト共同シテ大野小助ヨリ買受ケタル土地ノ登記ハ自分出金關係アレハ自分名義ニテ之ヲ爲ス土地反別五反歩此代金三千圓云々、中略

中略

十月六日、小川ト金尾ト兩人同道來宅殘金ヲ支拂フ但内金手数料トシテ百圓受取ル(以下略ス)

以下略

以上

右寫ノ通相違無之候

大正四年 月 日

被申立代理人

竹 村 茂 團

日本區裁判所御中

右寫ニ御座候也

大正五年三月一日

日本地方裁判所
第六民事部御中

原告代理人

金田銀造 印

送達證書

日本地方裁判所
第六民事部御中

受送者	竹村	類書付交	日本地方裁判所大正四年(ワ)第一〇〇〇號	送達年月日時	大正五年三月四日 午前八時四十分
	茂		一、甲第一、二號證 證據物寫 壹通	受取人ノ記 名捺印若シ 能ハサルキ ハ其ノ事由	竹村 茂 印
右ノ通り送達施行候也 大正五年三月四日		日本區裁判所執達吏川田徳吉代理	送達ノ場所	東京小石川區林町百番地	
ハシタルトキ		民事訴訟法 第四百九 條ノ依リ	送達ノ事由		
テ送達ニ依 ルキ		規定ニ依 ルキ			
ハシタルトキ					

日本地方第六民事部

職第八〇〇號

川原眞教 印

日本地方第六民事部

日本地方第六民事部

職第四〇〇號

送達證書

送達年月日時	大正五年三月十八日 午前十時十分
受取人ノ姓名ハ其ノ事由	金田銀造
送達ノ場所	日本橋區濱町一丁目 八百番地
民事訴訟法第四百九條ノ規定ニ依リテ送達トキハ其ノ事由	
送達ノ種類	證據物寫 壹通
受送達者	金田銀造

右ノ通り送達施行候也 日本區裁判所執達吏川田德吉代理
 大正五年三月十八日 瀬戸川政一郎

調書 (裁判言渡)

原告 小川清太郎
 被告 熊本猛

右當事者間ノ大正四年ワ第一〇〇〇號土地所有權確認事件ニ付大正五年三月二十二日午前九時當地方裁判所第六民事部公開法廷ニ於テ當事者出頭セス

裁判長判事 丁野廣
 判事 庚田耕六
 判事 戊川淺
 裁判所書記 己山高

列席ノ上裁判長ハ
 主文ノ朗讀ニヨリ判決ヲ言渡シタリ

大正五年三月廿二日

日本地方裁判所第六民事部

裁判所書記

己

山

高
印

裁判長判事

丁

野

廣
印

四(ワ)第一〇〇〇號

判 決 印

東京市下谷區茅町三十番地

原 告 小 川 清 太 郎

右訴訟代理人辯護士 金 田 銀 造

東京市本郷區臺町九百番地

被 告 熊 本 猛

右訴訟代理人辯護士 竹 村 茂

右當事者間ノ大正四年(ワ)第一〇〇〇號土地所有權確認請求訴訟事件
ニ付キ當裁判所ハ判決スルコト左ノ如シ

主 文

原告ノ請求ヲ棄却ス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

事實

原告訴訟代理人ハ被告ハ原告ニ對シ東京府豊多摩郡高井村大字栗山字大原五百番一、山林一反歩同字五百一番一、宅地百坪ハ原告ノ所有ナルコトヲ確認ス訴訟費用ハ被告ノ負擔トストノ判決ヲ求ムト一定ノ申立ヲナシ其ノ請求ノ原因トシテ供述シタル事實ノ要旨ハ原告ハ始メ訴外小川濁造ニ對シ原告所有ノ土地ヲ抵當トシテ金融ヲ得タキ旨依頼シタルトコロ種々曲折ノ末原告ハ被告ヨリ金圓ヲ借用スルコトトナリ大正二年十月一日原告ハ前記小川濁造ヲ代理人トシ被告ヨリ金壹千圓ヲ利子年一割二分返濟期限大正三年九月三十日ノ約旨ニテ借受ケ之レカ擔保トシテ原告所有ノ前記土地ニ對シ抵當權ヲ設定スル旨ノ意思表示ヲ爲シタリ、然レトモ目的タル金圓ノ授受ナカリシヲ以テ右消費貸借ハ全然成立セス、抵當權モ亦從ヒテ當然成立

セサリシモノ也、然ルニ被告ハ右抵當權ヲ實行スト稱シ大正四年一月二十日前記土地ノ競賣ヲ日本區裁判所ニ申請シ(同裁判所大正四年(丙)第六〇〇號事件)タル結果同年十月十日同裁判所ハ代金七千圓ニテ本件土地ヲ被告ニ競落セシムル旨ノ決定ヲ爲シ該決定ハ確定シタルニヨリ被告ハ此ヲ理由トシ本件土地ニ對スル所有權者ナリト主張シ居レリ、然レトモ前記ノ如ク抵當權ハ元來成立セサルカ故ニコレニ基ク競賣手續ナルモノモ亦當然無効ニシテ被告ハ何等ノ所有權ヲ取得スヘキ筈ナキヲ以テ本訴ニ及フ次第ナリト云フニ在リテ尙被告ノ抗辯ニ對シテハ原告ハ被告ト訴外小川濁造間ニ於ケル東京府北多摩郡四高村大字吉田五反歩ノ賣渡擔保契約ニハ何等ノ關係ナシ、被告カ右契約ニヨリ訴外小川濁造ニ貸與シタル金額ハ一千圓ニアラスシテ三千圓也ト述ヘ立證トシテ證人小川濁造川口浩三ノ訊問ヲ求メ甲第一號證ノ一、二、同第二號證ヲ提出シ乙號各證ノ成立ヲ認メ乙第

一號證ヲ援用シタリ

被告訴訟代理人ハ原告ノ請求棄却ノ判決ヲ求メ答辯トシテ被告カ原告主張ノ消費貸借ニ因ル債務ヲ負擔スル抵當權ニ基キ競賣法ニヨリ本件土地ノ競賣ヲ申立被告カ之レヲ競落シタルコトハ認ム、然レトモ該消費貸借ノ目的タル金銭ノ授受ナシトノ原告ノ主張ハ之レヲ認メス、即チ本件消費貸借ノ成立シタル次第ハ訴外小川濁造ナルモノ東京府北多摩郡四高村大字吉田五反歩ノ土地ヲ代金三千圓ニテ訴外大野小助ヨリ買受ケタルモ其ノ代金ノ支拂ニ窮シ被告ニ金三千圓ヲ借入レ度キ旨申入レタリ、然ルニ右土地ハ其ノ實價三千圓ノ價值サヘナキヲ以テ被告ハ右ノ如キ多額ノ出資ヲ拒ミタル結果前記土地ヲ一千圓ト見積リ右土地ヲ賣渡シ擔保トシテ小川濁造ニ金一千圓ヲ貸與シ現金ニテ大正二年十月一日登記所ノ代書人川口浩三方ニ於テ原告代理人タル小川濁造ニ五百圓ヲ交付シ其ノ殘金五百圓ハ原告代理

人タル同人ノ承諾ヲ得テ同人ノ訴外大野小助ニ對スル債務ヲ代ツテ辨濟シタリ、右ノ如キ次第ナルヲ以テ本件消費貸借及ヒ抵當權ハ有效ニ成立シタルモノ也ト述ヘ其ノ他ノ原告主張ノ事實ヲ認メ立證トシテ乙第一乃至第六號證ヲ提出シ甲號各證ノ成立ヲ認メテ甲第二號ヲ援用シタリ

理由

依ツテ按スルニ原告ノ代理人タル小川濁造カ原告代理人トシテ本件消費貸借及ヒ抵當權設定ノ意思表示ヲナシタルコト及ヒ被告カ本件抵當權ノ實行トシテ競賣法ニヨリ本件土地ノ競賣ヲ日本區裁判所ニ申立テ大正四年十月十日ノ競落許可決定ニヨリテ被告カ競落人トナリタルコトハ當事者間ニ争ナキ處也、原告ハ本件消費貸借ノ目的タル金銭授受ノ事實ナカリシコトヲ主張シ證人小川濁造亦同様ノ證言ヲナスト雖モ右證言ハ措信シ難ク證人川口浩三ノ證言及ヒ甲號各證

ヲ以テシテハ原告ノ右主張ヲ認容スルニ充分ナラス寧ロ其ノ成立ニ
 争ナキ乙第一號證及ヒ甲第二號證ニ依レハ右小川濁造等カ大野小助
 ヨリ地所ヲ買受ケ其ノ代金ノ支拂ニ充ツルタメ原告ノ代理人タル小
 川濁造トノ間ニ本件ノ消費貸借ヲナスニ至リタルモノニシテ該金員
 中五百圓ハ之レヲ被告ヨリ右濁造ニ交附シ同人ヨリ更ニ之レヲ右大
 野小助ニ交付スルコトヲ省略シテ合意上被告ヨリ直チニ大野小助ニ
 之レヲ交付シタルモノニシテ即チ原告代理人タル小川濁造ニ於テ現
 實被告ヨリ之レヲ受領シタルト同一ナル經濟上ノ目的ヲ達シタルモ
 ノト認ムルヲ相當トス、果シテ然ラハ少クトモ該金額ニ付テハ本件
 消費貸借カ有效ニ成立シタルモノニシテ其ノ擔保タル本件ノ抵當權
 カ本件土地ノ全部ニ對シ其ノ效力ヲ有スルヤ毫モ疑ヲ容レヌ故ニ右
 殘餘ノ金額ニ付キ金員ノ授受アリタルト否トニ拘ラス該抵當權ニ基
 ク競賣手續ハ有效ニシテ競落人タル被告ハ競落許可決定ニヨリテ右

土地ノ所有權ヲ取得シタルモノト謂ハサルヘカラス、仍テ原告ノ本
 件請求ハ不當ナリトシ訴訟費用ノ負擔ニ付キ民事訴訟法第七十二條
 第一項ヲ適用シ主文ノ如ク判決ス

日本地方裁判所第六民事部

裁判所長判事

丁

野

廣

印

判事

庚

田

耕

六

印

判事

戊

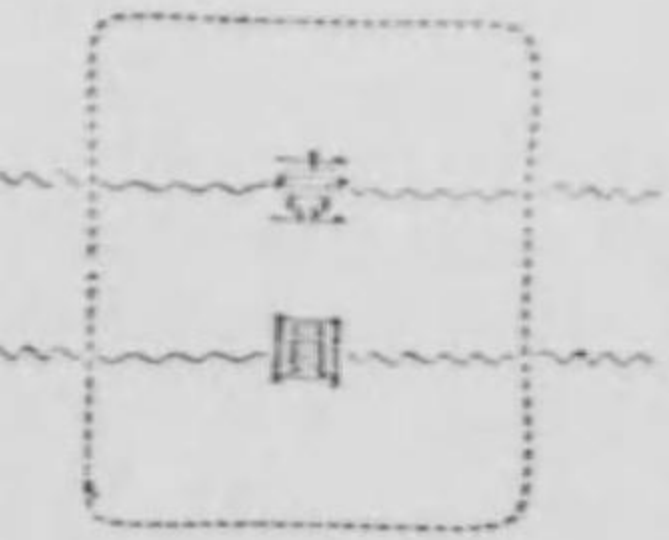
川

淺

印

判決正本送達申請

受付、大正五年三月二十三日



原告 小川清太郎
被告 熊本猛

右當事者間御廳大正四年(ワ)第一〇〇〇號土地所有權確認請求事件昨
二十二日判決言渡相成候ニ付キテハ至急判決正本當事者へ送達相成
度此段申請ニ及ヒ候也

大正五年五月二十三日

被告訴訟代理人

竹村茂

日本地方裁判所
第六民事部御中

送達證書

右ノ通り送達施行候也 大正五年四月廿八日	受送者	竹村茂	日本地方第六民事部 職第一三四九號
	送達年月日時	大正五年四月二十八日 午前八時	
日本區裁判所執達吏川田德吉代理 武田五郎	送達場所	小石川區林町百番地	日本地方第六民事部 職第一三四九號
	送達事由	判決正本壹通	
送達規定ニ依リテ送達スルハ其ノ事由		民事訴訟法第百四十五條乃至第九十九條	送達ノ場
送達ノ事由		民事訴訟法第百四十五條乃至第九十九條	送達ノ場
送達ノ事由		民事訴訟法第百四十五條乃至第九十九條	送達ノ場
送達ノ事由		民事訴訟法第百四十五條乃至第九十九條	送達ノ場

書	日本控訴院	大正五年	五月	廿五日	一三三〇	五ネ二〇〇
---	-------	------	----	-----	------	-------

訴訟記録送附書

前記ノ記録請求ニヨリ及送附候也

日本地方裁判所第六民事部

大正五年五月二十五日

裁判所書記 己

山 高 剛

日本控訴院

書記課御中

352
192

大正十一年五月十一日 印刷
大正十一年五月 八日 發行

【定價金壹圓】

監修者 前田直之助

發行者 波多野重太郎
東京市神田區仲張榮町一番地

印刷者 白井赫太郎
東京市神田區美土代町一丁目廿一番地

發兌元 東京神田 巖松堂書店

終